

八ツ木の丘で防災訓練

7月
21日



八ツ木の丘ガーデンシティーで、約180人の住民が参加し防災訓練が行われました。今年

は真岡消防署芳賀分署職員を講師に招き、消火訓練や煙体験ハウスを使った避難訓練を行いました。煙体験ハウスでは「何も見えない!」と子どもたちは驚きの声を上げていました。また地元消防団が放水訓練を行いました。

認定ひばりこども園 泥んこ遊び

7月
20日



認定ひばりこども園で、3歳児年少組から5歳児年長組の子どもたちが泥んこ遊びをしました。プールの水を再利用し、園庭に泥ができると、山や川を作ったり、おまごをしたりしました。子どもたちは顔や洋服を泥で真っ黒にしながら、夢中で泥んこ遊びを楽しんでいました。

南高分館ガーデニング教室 「多肉植物を楽しむ」

7月
21日



南高根沢分館でガーデニング教室が開催されました。今回は乾燥に強く見た目のかわいさからも人気が高い多肉植物を取り

上げました。講義では「多肉植物の育て方」として植え替えの時期や増やし方などを学びました。実技では寄せ植えを作り、参加者は楽しみながら思い思いの作品を完成させました。

芳賀町夏祭祇園祭

7月
20日～22日



祖母井神社の祇園祭が「芳賀町夏祭祇園祭」として生まれ変わり、今年で4年目を迎えました。祖母井神社には各地区の山

車と屋台が勢ぞろいし、お囃子の音色と軽快なリズムがより一層お祭りを盛り上げました。そして、威勢の良い掛け声が響き渡り、迫力ある本社神輿が担がれました。

こども園・保育園で夕涼み会や夏祭り

7月
20日・27日

祖母井保育園夕涼み会
7月20日(金)



みんなで「エビカニクス音頭」を元気に踊り、自分たちで飾り付けた山車を大きな掛け声をかけながら引きました。

認定ひばりこども園夕涼み会
7月27日(金)



八ツ木お囃子会の演奏に乗せて手作りのお神輿を担ぎ、「ドラえもん音頭」をみんなで元気いっぱい踊りました。

みずはし保育園夏祭り
7月27日(金)



子どもたちは、色とりどりの浴衣や甚平を身にまとい、自分たちが作ったお神輿を大きな掛け声で担ぎました。

栃木県・芳賀町 防災図上総合訓練

7月
9日



栃木県と芳賀町が合同で、震度6強の直下型地震の発生を想定した防災図上総合訓練を

実施しました。役場に災害対策本部を設置し、県・町・自衛隊・警察・消防などが、被害情報や要望などに対応する訓練を行いました。また、同時に上延生公民館で炊き出し訓練などの実動訓練が行われ、多くの地域の人に参加しました。

入江地区地域住民交流会

7月
10日



東高橋の入江公民館で地域住民交流会が開催されました。入江地区では月に1回、公民

館周辺の掃除をした後、茶話会を行っています。今回は、真岡警察署下延生駐在所の笹木巡査部長を講師に招き、防犯講話を聞きました。参加者は実際の交通事故のような映像を見て「危ない!」「本当に事故を見ているよう」と話していました。

タウンレポート Summer



Town Report

水橋分館 おやこ陶芸教室

7月
7日・21日・28日



水橋分館でおやこ陶芸教室が開催され、今年参加者からの希望が多かったマグカップを作りました。参加者は、粘土を一本の長いひも状にし巻きながら作っていく工程に

苦戦しながらも、すてきな作品を完成させました。「難しいところもあったけど楽しかった」と親子で話している姿が見られました。

野元川を愛する会が 要望書を提出

7月
17日



野元川を愛する会の齋藤惣一会長(東水沼)など役員5人が見

目町長を訪問し、産業団地整備に対する要望書を提出しました。産業団地から排出される雨水や排水が野元川に放流される計画があることから、堤防や河川敷の改修、サイクリングロードの整備、公害防止に努めることなどを要望しました。

健康づくりモデル地区事業 「第1回芳志戸健幸塾」

7月
8日



芳志戸ふれあい交流館で初回となる芳志戸健幸塾が行われました。24人が参加し、健康に関する講話を聞き、

グループワークを行いました。健康診断の受診率を上げるためにはどうしたらいいかを話し合うと、実体験に基づいた活発な意見が出されていました。最後に、自分の体を知るために血圧や血管年齢の測定などが行われました。